

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 社会福祉法人正和会

(ユニット名) ささえ

記入者(管理者)

氏名 田坂信一郎

評価完了日

平成 20 年 12 月 20 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			理念としては、掲げているが地域社会の一員として生活することを支援する身近な理念ではない		職員全員で地域社会との関わりなどに主眼をおいて、GHの役割にふさわしい理念をつくる
			(外部評価)		
			事業所は「ゆったり 一緒に 楽しく」と理念を掲げておられる。		管理者は、「地域と垣根のない」「行ってみたい」と思えるような事業所を目指しておられる。この機会に貴事業所が「地域密着型サービス」事業所として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、具体的に話し合ってみてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			介護職員としての資質や職員個々の温度差を感じる		・認知症についての理解を深める ・全職員が同じ方向にむけて介護できるよう、ミーティングや日々の申し送りで話し合う
			(外部評価)		
			玄関等に理念を掲示しておられる。		さらに、全職員が事業所の理念を共有し、日々ケアに取り組めるような仕組み作りが期待される。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族や見学者の方にも出来事等で地域との関わりを具体的に話したり、運営推進会議で運営方針を話し合うことで理解してもらっている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 立地的に不利な面はあるが、魚屋、肉屋さんに来てもらい顔なじみになっている		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 運営推進会議により、地域の情報を得る事ができ交流する機会が多くなった (外部評価) 買い物や外食に出かけることもある。利用者が地域の中に出かけることを支援するため、まず、地域の文化祭への参加を促されたが、参加するまでに至っておられない。法人全体での「納涼祭」には地域の方も招き、楽しまれている。		さらに事業所では、今後、法人全体で実施している「公文の学習療法」の取り組みを地域に紹介する等、事業所のことをさらに知っていただけるような機会を作っていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 職員間で話題にはなっているが、取り組めていない		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 意義は理解しているが、改善はできていない (外部評価) 今回の自己評価は、前任の管理者が作成された。この一年間、利用者に地域行事への参加を促す等、地域に出かけることの取り組みを一步すすめられた。又、公文の学習療法を通じ、話題作りに取り組まれた。		サービス評価に取り組む際、事業所で気付かれたことは、ケアの改善への最大の起点でもある。今後、外部評価結果、家族アンケート結果等を活用して、全職員で話し合う機会とされてほしい。評価を事業所のさらなる質の向上への取り組みにつなげていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>運営推進会議の参加者より高齢者としての生き方や考え方を聞くことができ、おおいに参考になっている</p>		
			(外部評価)		
			<p>会議には、地域の自治会長の方や婦人会長、民生委員の方等も参加されている。事業所の活動報告を行い、活動についてアドバイスやご意見をいただくこともある。自治会長の方から地域で行う餅つきの案内をいただき、職員が参加された。</p>		<p>さらに、会議にご家族の参加等も増やしていかれてほしい。事業所を利用する側からのご意見もいただけるのではないだろうか。又、介護相談員の方等、事業所にかかわる方達の参加も働きかけてはどうだろうか。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>介護保険制度等、不明な点については尋ねたり困っていることを相談している</p>		
			(外部評価)		
			<p>運営推進会議時には、市が現在取り組んでおられる「見守りネットワーク」への取り組みについてお話いただいた。介護相談員の受け入れもされている。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>社協の支援員等の協力を得て、困難事例も解決したり、そのことで、知識を得ることができた</p>		
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>施設内外を問わず研修機会があり、自分たちの介護を振り返り細かい部分についてまで、意見の交換をして虐待についての理解をふかめている</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 重要事項説明書にそって説明を行い、家族に納得していただいている		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 自由に意見の言える雰囲気は開設当初よりあり、それが現在の入居者の活気ある生活に反映している		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らし方や健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時や遠方の家族には、電話で健康状態や暮らし方をつたえている		
			(外部評価) ご家族の来訪時や電話等でご本人の様子を伝えておられる。		さらに、ご家族に事業所のことをさらに知っていただくためにも、事業所全体で取り組んでおられることや、職員の入れ替わり等についても知ることができるよう、報告の工夫が求められる。この機会にご家族が知りたい情報について聞き取ってみてはどうだろうか。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱の設置や面会時に要望について伺っている		
			(外部評価) ご家族からの伝言は、申し送りノートで全職員に伝わるようになってきている。ご家族から食事の内容やお部屋の掃除、更衣の支援等についてご意見をいただくこともあるが、職員で話し合い、改善に努めておられる。		さらに、ご家族からいただいたご意見について、その後どのような取り組みをすすめているかということについても、伝えていかれてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 反映されていない		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 入居者の重度化に伴い、早出勤務を必要としている		運営者と話し合う
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ・異動があっても顔なじみになるまで、入浴や排泄等の介助は、ひかえている ・異動もできるだけ1人に行っている		
			(外部評価) 現在、管理者の交代もあり、新しい体制作りをはじめておられるところである。管理者は、職員から利用者個々のことについて聞き取っておられた。又、今後、管理者は、職員一人ひとりと面接を行っていくことを予定されていた。		4月には、再度管理者の交代があるようだが、管理者は、利用者に影響が出ないよう配慮したいと話しておられた。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ・法人の職員として、母体の老健施設と合同で、研修を受けている ・日々の業務のなかでも、その都度はなしている		
			(外部評価) 管理者は、職員それぞれに合わせて、市主催の研修への出席をすすめられたり、法人内の研修へ職員は参加されている。		職員は、利用者への声かけや対応について、さらに勉強を重ねていきたいと話しておられた。さらなる職員のスキルアップから、貴事業所のケアの質向上を目指していかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			運営推進会議により、地域の情報を得る事ができ交流する機会が多くなった近隣のGHより、参加してもらい交流をふかめている		
			(外部評価)		
			運営推進会時には、同市の他グループホームと相互に出席し合っておられる。又、包括支援センター主催で市内のグループホームの集まりがあり、テーマを決めて話し合われたり、事例検討や意見交換がなされている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			・法人全体で職員旅行や親睦会を毎年計画している ・ストレスを抱えている職員は、個別に話す機会をつくっている ・ストレス軽減のため入居者に不利にならないように業務改善をしている		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			夜勤明けの疲労を十分回復できる限り2連休を入れることで、意欲的に仕事ができるようにしている		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			・相談時に自宅や病院に訪問し、本人・ご家族に要望を聞いたり、ホームでの生活の様子をはなしている ・できるだけご家族だけでなく本人さんにも見学に来てもらうようにしている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前にホームの見学や自宅に訪問する等、できるだけ話し合いの機会をもうけ不安の解消につとめている		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、満床で入居できない時はご家族に事情を聞き、他のGHも紹介している。ご家族が入居に結びつける場合が多い		入居だけでなく、住み慣れた家で生活を継続できるように、ご家族と一緒に他のサービス利用も考えていきたい
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 場合によって、本人、ご家族をホーム内の催しに招待したり、何度も来てもらい納得のうえで入居を決定している (外部評価) 入居間もない間、不安に思われる方には、ご家族の協力を得て、電話でお話しをされることもある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ・生きざま等聞かせてもらい、自分自身を振り返ることが出来たり、得ることがおおい ・職員は、入居者の笑顔や挨拶に励まされ、やる気がでてくると話している (外部評価) 職員は、利用者からさつま汁等、それぞれの家庭の味を教わったりすることもある。又、利用者がお若い頃、ご苦労されたこと等のお話しに耳を傾けておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族とも相談しあいながら、支援している		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ・ご家族と連絡をとる用件の時は、本人と変わりお元気な声を聞いてもらう ・定期受診は、家族にお願いして買い物や外食もされている		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 入居時に比べて疎遠になっている、交通機関のないことも影響している		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) それぞれに、自分の気のあう人と過ごせるよう、職員も雰囲気づくりをしている		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ・退去されても、状態を知らせてくれたり相談をうけることも多い ・ホームの催し物にも来て頂くこともある		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>徐々に困難になりつつあるが、表情より判断したり、家族も交えて本人の思いの把握に努力している</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>入居時、身体状況やこれまでの暮らしについて情報収集をされている。職員は、利用者それぞれの好みの食べ物や過ごし方の希望をよく知っておられる。</p>		<p>さらに、ご本人、ご家族から得た情報を蓄積できるような様式等を工夫されてはどうだろうか。介護計画作成時の材料とされる等、ご本人の思いを日々の支援に採り入れていかれてほしい。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケアマネージャ・ご家族から情報を得ているが、独居の方は把握が十分でない</p>		<p>入居してからの様子、会話で得た情報を家族に確認しながら、時間をかけて把握していく</p>
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人のできることや思いを大切にしながら部分的な支援をしている</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>担当制にして、毎月モニタリングを行い職員全員で介護計画の作成をしている</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>現在、介護計画は、健康状態と個々の趣味に焦点を当てて作成しておられる。利用者個々に担当職員を配し、計画の案を立て、計画作成担当者が介護計画を作成しておられる。</p>		<p>さらに、ご本人の思いを中心に、ご家族の意向等を十分に採り入れた計画の作成が期待される。又、計画の実践状況をご家族に伝え、ご意見をいただく等、相談しながらケアに取り組まれてほしい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
				状況に応じての見直しをしている	
			(外部評価)		
					介護計画をケアのガイドとするためにも、利用者個々の現状と計画にずれがないか、ということについて点検されてみてほしい。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
				・介護計画にそっての記録は、表現内容もすこしづつ充実してきている ・勤務前には、日誌に目をとらして勤務についている	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
				定期受診等、家族の要望に応じて送迎の便宜をはかっている	
			(外部評価)		
					併設施設のマッサージ機にかかりに行かれることが、日課となっている方がおられる。ご家族の都合に合わせて病院受診等に、職員が同行されることもある。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員・自治会長・婦人会長の方達に地区の情報を頂き、入居者の楽しみごとがふえている		
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	理・美容院を利用する際、送迎もしてもらうこともあり助かっている		
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している			
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居時に家族などと相談、在宅時のかかりつけ医を利用されている方も多数おられる		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(外部評価) 利用者それぞれ以前かかっておられた病院を受診されている。又、系列病院の医師が定期的に往診に来るようになっている。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 母体が、精神科なので支援をうけている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師の配置により、日常の健康管理や緊急時の相談をしている		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 以前は医師との相談が多く、一方的であったが最近では相談員との情報交換が出来、早期退院にむけて前向きな検討ができています		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 医療連携体制により、「看取りの指針」を定めているが状況の変化により本人や家族の確認を、その都度とり意向にそっている (外部評価) 契約時には、ご本人ご家族の希望があれば、最期まで支援することを説明されている。法人全体で「緊急時の対応」について研修をされている。		ご本人の今後のことについて、ご家族等に不安や心配なことはないか、聞いてみるような機会作りが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ターミナルケアは実際に行っていないが、家族より少数ではあるが、希望もあり体制づくりがいそがれる		・医療関係者との連携体制づくり ・理念に基づいた終末期ケアのあり方を職員で話し合う
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人・ご家族との話し合いの機会をもうけている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>守秘義務の徹底や年長者への礼儀について、日々の申しおくりではなしている</p> <p>(外部評価)</p> <p>トイレの扉の中にカーテンを取り付け、利用者のプライバシーに配慮されていた。又、居室に入る際にはご本人に声を掛けておられた。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入浴は、本人が好きな時間を選べ、買い物に行きたいときは同行している</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>1日の流れとしてはあるが、それぞれ自分の体調や想いにあわせ自由に生活している</p> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、ご本人の起床時間に合わせて、少し遅めの朝食を摂っておられる様子がうかがえた。昼食後、ソファに座ってテレビを見たり、居室で過ごされる方もうかがえた。</p>		<p>職員は、利用者と一緒にゆっくり過ごすような時間を作っていたと考えておられた。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 衣料品店にいき、鏡のまえで自分に似合う洋服を選んでいる		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下ごしらえや味付けを得意とする人、一人ひとり自分のできることをされ、職員と一緒に食卓を囲んでいる (外部評価) 利用者とともに買い物に出かけ、食材選びをされる方もいる。利用者の好みを探り入れられるよう心がけておられる。又、ご自分の食器を手押し車に乗せて下膳されている方もあった。		食事内容の話題や配膳、あいさつ等、さらに、利用者一人ひとりが「食事を楽める」ような工夫について、話し合われてみてはどうだろうか。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 晩酌される方は毎晩されていて、気分のよい時は自作の歌がでて和やかな夕食となる		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表によりパターンをつかみ、おむつの使用を減らし不快感を感じないようにしている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入居者の意向にそえるよう、毎日入浴できる状態にしている		
			(外部評価)		
			毎日の入浴や一番風呂等の希望に合わせてたり、ゆず風呂等を楽しむこともある。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			眠れない時は、お茶を飲んだりお話をしたり入眠しやすいように支援している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			昔話に花を咲かせたり歌を唄ったり、庭の落ち葉を掃きあつめたり、ペットと戯れたり、思い思いの生活をされている		
			(外部評価)		
			日常的に居間でカラオケを楽しまれたり、庭の草引きをされる方もいる。居室や居間に掃除機をかけて下さったり、食事の支度を職員とともにされる方もいる。地元の神社に初詣に出かけ、おみくじを引いたり、お守りを買われる方もあった。晩酌を嗜まれる方もいる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族と相談して、小額のお金を持ってもらい買い物時にほしいものを買われている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> ・安全に散歩できる環境にあり、戸外に自由にでかけている ・母体の老健とも連携をとり見守りはかかさない 		
			(外部評価)		
			法人の敷地内を散策される方もいる。外食に出かけたり、季節によっては戸外で食事をされることもある。		事業所では今後、地域に出かけて楽しめるような機会を作っていきたいと考えておられる。ご本人やご家族の希望等もつかいがいながら、利用者個々の生活を拓けていかれてほしい。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			墓参や親類との交際は、家族の協力で行っている		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			大部分の人が手紙をもらったら電話でお返事されている		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面会時間の制限もなく来訪者があれば、入居者の自室でお茶を飲みながら気がねなく過ごしてもらう		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、身体拘束 をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 研修も受けており、身体拘束の弊害も理解している		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は自由に出入りが出来るよう鍵をかけていない (外部評価) 玄関に鍵をかけず、利用者は、外の様子を見に出られ たり、併設施設へと自由に出入りされていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	(自己評価) 夜間は1時間毎の訪室、昼間は職員間で入居者の所在 の確認を自然な形で確認しあっている		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 見守りの少ない夜勤帯は、包丁や洗剤は保管庫に収納 している		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ・事故発生の直後、BS法で対応策をだしあっている ・回覧により確認しあい事故の再発防止につとめてい る		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) ・消防署で救命救急訓練講習会を受け、受講証の更新をしている ・新人職員については未受講		新人職員も受講する
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) ・母体の老健施設と協力体制をとっている ・ホーム単独でも夜間想定で非難訓練をおこなっている (外部評価) 年に2回、避難訓練を行っておられ、事業所独自でも利用者とともに夜間を想定して等、避難訓練を行っておられる。		立地的に地域の協力は、困難であるが運営推進会議で検討していきたい 職員は、介護度重度の利用者の方の避難について不安に思われていることもあり、又、地域の方達の協力を得られるような働きかけ等、利用者の安全に向けての取り組みを重ねていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) ・入居時に話し合い理解してもらっている ・状態変化に応じて、家族に報告し要望もきいている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) ・毎日のバイタルチェックで異常があれば早めの受診をしている ・必ず申し送りで状態を伝えている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ・投薬変更があれば薬情のコピーを日誌にファイルし受診に付き添った者が説明し、副作用に気をつけている ・服薬の確認不足もある		認知症について学ぶ
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) ・野菜の嫌いな人もあり、おやつなどに工夫をしている ・排便確認も不正確な面もあり、排泄後の確認をして早期に便秘にきづくようにしている		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 自立している方は、声かけに応じてくれない時が多い		声かけのしかたやタイミングを考える
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) ・食事は主・副にわけて記録 ・水分摂取の少ない方は個別に記録をとり、本人の好きな飲み物でとっている (外部評価) 調査訪問時の食事時、急須がテーブルに準備されており、ご自分で注いで飲んでおられる様子がうかがえた。水分量を見ながら、時にスポーツドリンクで水分補給されることもある。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) ・感染マニュアルは作成している ・インフルエンザの予防接種も早めに全員実施 ・ノロウイルスに対しては、年間つうじて対策をとっている		感染症の知識の習得

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理用具の除菌はしている ・買い物で新鮮な品を購入している 		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>立地環境により、近隣との交流は少ないが来訪者には、玄関まで出迎え明るい笑顔と挨拶は、こころがけている</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の「もったいない」の声で照明を消し暗く感じる事もあるが、意志を尊重している ・散歩の途中で野花を摘んでこられ、自室にいけている <p>(外部評価)</p> <p>居間は、テーブル席が、数か所にあり、ソファでゆったりと過ごせる場所もある。</p>		<p>玄関周りは、事業所の印象でもあり、清潔に保たれたい。又、におい等についてもこの機会に点検されてみてはどうだろうか。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>廊下のベンチやリビングで仲良くお話されている</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居時に1つでも使い慣れた品物や、思い出の品物を持って入居されている		
			(外部評価)		
			ご自分で作ったお人形が飾られたサイドボードや、ご家族の写真を貼っておられたり、ご自宅で使用されていたタンスが持ち込まれている。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			・リビングは職員の体感で室温調整している時が多い ・冬期は乾燥に注意している		入居者の体感にあわす
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			・流し台の高さが適切でなく、皿あらい等に負担がかかっている ・手すりをつけ、安全に歩行ができるようにしている		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			夜間はトイレの場所がわかるように、戸を開け電気をつけている		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			天気の良い日は、戸外で食事をしたり、お茶を楽しむ。ベンチで日光浴もしている		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいの 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	重度の方も多く職員主導で、思いや願いを見落としている
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ③ たまにある 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 4 ほとんどない	業務優先で、お茶の時間も一緒に過ごせない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 4 ほとんどいない	身体的に介助を要し、職員も無意識のうちに本人との思いとは別に誘導している
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 4 ほとんどいない	元気がなく、座っている事が多い
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 4 ほとんどいない	外出するにしても、自立している人が少なく自由にでかけれない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	・ 毎日、入浴前のバイタルチェックで異常がみられたら、受診をしている ・ 申し送りで報告し情報の共有をしている ・ 安全面もゆきすぎた干渉にならないようにしている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	・ 買い物に行きたい時は、できるだけすぐ対応している ・ その他についても入居者の希望を優先している
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	新しく入居された方の家族については、遠慮されている面もあるが、電話や面会時に様子を伝えることで要望も聞くことができている
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	・ 交通機関がないので、車に乗れない方は、遠のいている

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ①大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議をとうして、知り得た情報で地域の催しものに参加し、地元の方達の親切にして頂いた
98 職員は、生き活きと働けている	(自己評価) ③職員の1/3くらいが 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の間関係が影響しているのか、日々雰囲気が違う
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ③利用者の1/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 4 ほとんどいない	不安を訴える人もあり、穏やかでない表情の人もいる
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ③家族等の1/3くらいが 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 4 ほとんどできていない	苦情としてはないが、こまかいことに気配りが欠けており簡単なことができていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

のぞみ・ささえは、立地的に不利な面は多々ありますが、最近このGHにも肉屋さんやパン屋さんが懐メロを流しながら坂道をあがって来てくれます。皆さんのパンを選ぶ姿は、声も弾み元気いっぱいです。住宅地に住んでいれば普通の事でも、ここで生活していると、とても大切な事のように感じます。これからも、あたりまえの生活を目指して頑張ります。